

都市再生整備計画 事後評価シート
高浜東部地区

平成31年3月

石川県 志賀町

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	石川県	市町村名	志賀町	地区名	高浜東部地区			面積	57.8ha				
交付期間	平成26年度～平成30年度		事後評価実施時期	平成30年度		交付対象事業費	863	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 道路(街路(都市計画道路(仮)福野川尻橋線)、地方道(町道(仮)高浜東部団地線、定住促進住宅地道路、町道高浜羽咋線))、公園((仮)高浜東部公園)、高質空間形成施設(緑化施設等(志賀小学校通学路)、歩行支援施設(志賀小学校通学路))										
		提案事業	地域創造支援事業(定住促進住宅地上水道整備(定住促進住宅地内)、定住促進住宅地調整池整備(定住促進住宅地内)、定住促進住宅地緑地整備(定住促進住宅地内)、(事業活用調査(事業効果分析調査)、まちづくり活動推進事業(定住促進広報事業))										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	事業名		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響						
		提案事業	道路(地方道(町道高浜羽咋線))		他事業により整備するため事業削除		指標3の数値目標を下方修正						
	新たに追加した事業	基幹事業	高質空間形成施設(緑化施設等(志賀小学校通学路))		施工箇所の見直しが必要となったため事業削除		指標3の数値目標を下方修正						
		提案事業	-		-		-						
交付期間の変更	当初	平成26年度～平成30年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-							
	変更	なし											
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	地区内人口の社会増減	人/年	-13	H25	+13	H30	-	+1	△	あり	●	平成31年5月
	指標2	志賀小学校付近の歩行者数	人/12時間	236	H24	260	H30	-	200	×	あり	●	-
指標3	居住環境満足度	点	3.6	H25	3.9	H30	-	3.5	×	あり	●	-	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	その他の数値指標1	定住促進住宅地分譲率	%	0.0	H25	/	/	-	81.0	/	/	●	-
	その他の数値指標2	歩道設置率	%	37.0	H25	/	/	-	49.0	/	/	●	-
その他の数値指標3	悪臭に係る居住環境満足度	点	3.7	H25	/	/	-	4.1	/	/	●	-	
4)定性的な効果発現状況	・都市基盤整備による宅地化の進展に伴い、地区内に新たに商業施設が立地し、大規模空地の有効活用と地域の生活利便性向上に繋がった。 ・居住環境に関するアンケート調査結果において、7割の住民が事業を行う前と比べて高浜東部地区は「良くなった」あるいは「やや良くなった」と回答し、半数以上の住民が整備効果があったと回答している。												
5)実施過程の評価	実施内容		実施状況									今後の対応方針等	
	モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた						-				
	住民参加プロセス	特になし	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した						-				
持続的なまちづくり体制の構築	みらいとうぶ区の設立	都市再生整備計画に記載し、実施できた						-					
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した						●	定住促進住宅地整備によって新たに設立されたみらいとうぶ区の自治活動の活性化を後方から支援を行っていく。				
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						-					

様式2-2 地区の概要

高浜東部地区(石川県志賀町) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
【大目標】安全・安心で住みよい地区環境形成による定住促進 目標1:良質な住宅基盤を提供する。 目標2:安全・安心な生活環境を創出する。 目標3:地区住民の居住環境を向上させる。	地区内人口の社会増減	単位:人/年	-13	H25	+13	H30	+1	H30
	志賀小学校付近の歩行者数	単位:人/12時間	236	H24	260	H30	200	H30
	居住環境満足度	点	3.6	H25	3.9	H30	3.5	H30



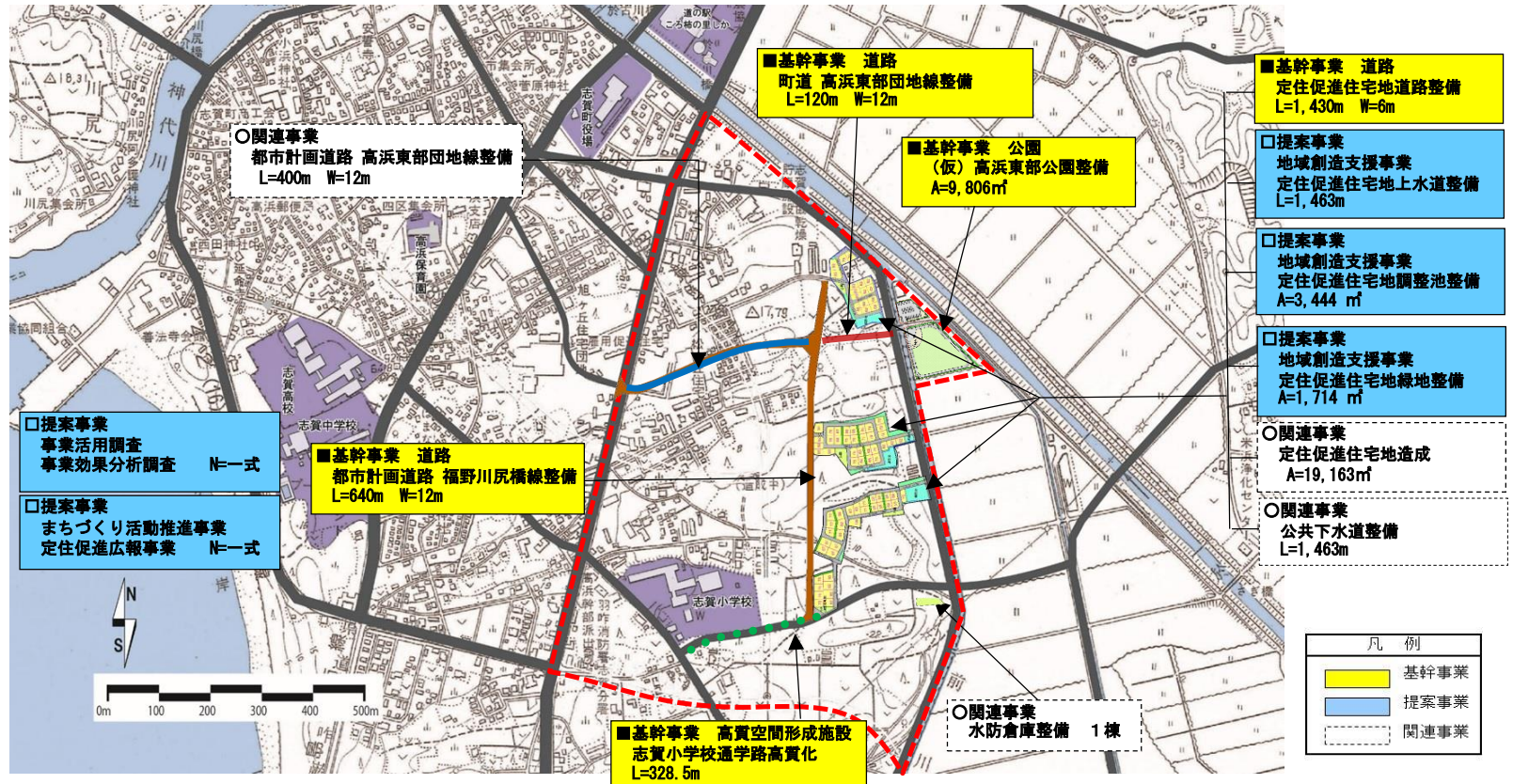
都市計画道路福野川尻橋線整備



志賀小学校通学路高質化



定住促進住宅地緑地整備



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 畜産場跡地を定住促進住宅地として整備し、良質な住宅地を提供したことにより居住者が増加した。 志賀小学校周辺の通学路となり得る道路の歩道融雪の整備により、積雪期の通学環境が改善されたほか、調整池の整備により、地区の防災環境が向上した。 畜産場跡地を良好な住宅地として整備することで、悪臭等の発生が解消されたほか、道路、公園・緑地等の整備により、居住環境が向上した。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 町広報紙やホームページでの広報をはじめ、官民連携による積極的なPR活動や定住のための情報提供、サポート体制の充実を図る。 安全、安心な暮らしを支える道路等の都市基盤の適切な維持管理に官民協働で努める。 周囲の豊かな自然環境と調和し、ゆとりとうるおいのある良好な住宅地環境の維持・保身を官民協働で図る。 通学路を中心に街灯やガードレールなどの交通安全、防犯に資する施設の整備を進めていくほか、都市計画道路等の整備推進により、通学路や住宅地内への通過交通の流入を抑制するなど、安全、安心に歩ける通行環境を整えていく。 満足度が比較的低い河川整備などの災害対策のほか、公園緑地の充実、通学路の安全対策、防犯対策に努めていく。